

創造・参加・実践
No.791

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133

発行責任者 羽野 敦之
編集責任者 白井 聖二

第72回全専従者会議を開催

定期中央本部大会に向け 意見や課題を共有し、意思統一を図る

JR西労組は、2026年5月21日(木)、大阪コロナホテルにおいて、第72回全専従者会議を開催し、JR連合、連合、交運労協派遣者を含め48名が出席した。

冒頭、中央本部を代表して、羽野中央執行委員長が、①26春闘、②2025年度決算、③中期経営計画2030、④安全、⑤政治、⑥新規採用加入行動、⑦整備新幹線について挨拶を行った。その後、来賓を代表して、JR連合宮野企画局長が、①中東情勢、②安全、③26春闘、④組織、⑤政策、⑥政治、⑦財政について挨拶を行った。

議事に入り、安全について、JR西労組JR西日本連合の取り組みの経過が報告され、業務課題については、2026年度に実施する改善策

策や組織改正について提起がされた。
ワーキンググループの委員会は、賃金昇進制度の見直しに向けたPT、男女平等参画推進に向けた取り組み、今後のワーキンググループの委員会の在り方について提起がされた。



26春闘等について挨拶を行う羽野中央執行委員長



来賓を代表して挨拶するJR連合宮野企画局長



JR連合・連合・交運労協派遣者を含め48名が出席

JR西日本 2025年度期末決算公表

JR西労組は、4月30日に公示されたJR西日本グループ2025年度期末決算に対して、5月8日に経営協議会を行い、決算概要について説明を受けて、議論した。

単体では、まちづくりプロジェクトの開業効果、大阪関西万博による増収に加え、万博閉幕後もご利用が堅調に推移したことにより、5期連続の増収増益。営業収益、及びすべての利益項目において過去最高の実績

は、26年度入社の新規採用および社会人採用の加入状況、組織オルグの実績が報告され、今後の出向組合員、シニア委員会の在り方について提起がされた。

政治・政策活動については、本年実施される米子市議員選挙、滋賀県知事選挙に対する対応、JR西労組議員団会議との連携、交通政策をすすめる会、当面の政策活動について提起がなされた。

対経費、北陸新幹線の線路使用料の増などの影響により、過去最高となる9.291億円となり、営業利益は1.299億円となった。

連結では、モビリティ業および流通業は、大阪関西万博による増収やインバウンド需要増による増収やインバウンド需要増により、増収増益

収益18,458億円、純利益1,274億円と過去最高となった。

は、万博効果の反動や物価高騰の影響に加え、不透明な国際情勢等も考慮し、1,650億円の連結営業利益を計画

第12回組織共闘役員研修

地域で活動をする共闘役員が集結

JR西労組は、5月21日(木)、大阪コロナホテルにおいて、第12回組織共闘役員研修を開催した。

現在は、連合や交運労協の各府県や地域協議会において、JR連合、JR西労組の代表として約150名が活躍しており、当

研修の冒頭、羽野中央執行委員長は、①安全、②JR西日本グループの決算状況、③中期経営計画について挨拶を行った。

来賓を代表して、交運共済本田専務理事は、①こくみんへの移転作業、②総合共済、③各種申請について挨拶を行った。

その後の特別講義では、JR連合宮野企画局長(JR西労組出身)より、「JR連

合の政治・政策活動について「講義を受け、課題解決に向けて、組織内および連合や交運労協の仲間に情報発信していくことの重要性について、認識を共有することが出来た。

次に富士社会教育センター田尻講師より、「労働組合の政治活動について」と題して特別講義を受けた。国政選挙や地方選挙における選挙違反やコンプライアンス違反を起さないための注意などについて講義を受けた。2027年に実施される統一地方選挙における、組織内議員および推薦議員の必勝に向けた意思統一を図り閉会した。

研修の冒頭、羽野中央執行委員長は、①安全、②JR西日本グループの決算状況、③中期経営計画について挨拶を行った。

来賓を代表して、交運共済本田専務理事は、①こくみんへの移転作業、②総合共済、③各種申請について挨拶を行った。



来賓を代表して挨拶する交運共済本田専務理事

研修の冒頭、羽野中央執行委員長は、①安全、②JR西日本グループの決算状況、③中期経営計画について挨拶を行った。

来賓を代表して、交運共済本田専務理事は、①こくみんへの移転作業、②総合共済、③各種申請について挨拶を行った。



JR連合、JR西労組の代表約120名が参加

研修の冒頭、羽野中央執行委員長は、①安全、②JR西日本グループの決算状況、③中期経営計画について挨拶を行った。

来賓を代表して、交運共済本田専務理事は、①こくみんへの移転作業、②総合共済、③各種申請について挨拶を行った。

その後の特別講義では、JR連合宮野企画局長(JR西労組出身)より、「JR連

合の政治・政策活動について「講義を受け、課題解決に向けて、組織内および連合や交運労協の仲間に情報発信していくことの重要性について、認識を共有することが出来た。

次に富士社会教育センター田尻講師より、「労働組合の政治活動について」と題して特別講義を受けた。国政選挙や地方選挙における選挙違反やコンプライアンス違反を起さないための注意などについて講義を受けた。2027年に実施される統一地方選挙における、組織内議員および推薦議員の必勝に向けた意思統一を図り閉会した。

<連結決算>

	2024年度	2025年度	対前年		2026年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	17,079	18,458	1,378	108.1	18,290	△ 168	99.1
(うち運輸収入)	8,926	9,479	552	106.2	9,460	△ 19	99.8
営業利益	1,801	1,980	179	109.9	1,650	△ 330	83.3
経常利益	1,656	1,836	180	110.9	1,450	△ 386	78.9
親会社株主に帰属する当期純利益	1,139	1,274	135	111.9	1,000	△ 274	78.4

■決算のポイント

1. 概要

まちづくりプロジェクトの開業効果、大阪・関西万博による増収に加え、万博閉幕後もご利用が堅調に推移したことにより、5期連続の増収増益。営業収益、及びすべての利益項目において過去最高の実績

2. セグメント

- ・モビリティ業、流通業は、大阪・関西万博による増収やインバウンド需要増により、増収増益
- ・不動産業は、まちづくりプロジェクトの開業効果もあり、不動産賃貸・販売、SC、ホテル業とも好調に推移し、増収増益
- ・旅行・地域ソリューション業は、ソリューション事業は増収も、ツーリズム事業の販売減等により、増収減益

■業績予想・中計2030

・2026年度の業績予想は、万博効果の反動や物価高騰の影響に加え、不透明な国際情勢等も考慮し、1,650億円の連結営業利益を計画
・本日公表した「JR西日本グループ中期経営計画2030」の初年度として、グループ事業の根幹である鉄道の安全・安心を基盤に、「安全、良質でサステナブルなモビリティへの変革」「事業ポートフォリオの変革」に向けた取り組みを推進

■株主還元

・2025年度年間配当は97.5円/株(対前期+13円、対予想+7円)と増配予定(期末配当は52.5円)。
2026年度年間配当予想は97.5円/株